

第3回橋梁分科会(リーダー会)議事録

平成17年6月3日 17:00～
県道路公社会議室
記録:技術公社亀下

出席者 茨城大学 ……横山 功一、原田 隆朗
県建設技術管理センター ……園部 武正
県建設技術公社 ……十八公 伸昌、亀下 修一
県道路公社 ……豊島 信拓
榑長 大 ……牧野 均
八千代エンジニアリング榑…上杉 泰右、野田 一弘

- (1) マニュアル作成にあたり、H16国土交通省のマニュアルを採用するのか？
あるいは、県独自のマニュアルを作成するのか？県独自を採用した場合は、国土交通省の対応をどうするのか？
- * 県土木部道路維持課としては、茨城県独自のマニュアル(H3作成を基本)で行いたい意向がある
又1.0橋当りの調査費用は極端ではあるが10万円程度できる方法を考えている(道路公社豊島)
 - * 長大橋(L=500m程度)から短橋(L=20m程度)まで多種多様な橋梁が有り10万円/1.0橋では、安易的ではないか(八千代エン)
 - * 国土交通省マニュアルでは、橋長(L=50～70m)の調査費用は、60～70万円/1.0橋程度になると思われる(八千代エン)
 - * 調査費が高額だと、全橋梁調査は、何年にもなってしまう全体像が?めなくなり、調査の意味が薄れる(茨城大)
 - * 1.0橋当りの調査費に、国交省までの金額を懸けなくてもよいのでは、ないのか？(管理センター 園部)
- (2) H3年度に榑長大は、県から調査委託を受け約150橋ほどの調査を行った。
当時のデータベースとしてMS-DOS版を納品したが、エクセル又はワード等への変換はできない。(長大)
- * 変換できないと作業量が多少多くなることが考えられる。
 - * 変換できれば国データ(エクセル・ワード)との切り貼りが容易である。
 - * H3年度は、茨城県及び茨城県道路公社が橋梁の劣化調査を行っている。
 - H8年度は、茨城県及び茨城県道路公社は道路防災総点検調査で、橋梁の耐震調査を行っている。(長大)
- (3) 県土木部道路維持課の求めるもの
- * 県は土木職員又は一般モニター等、の誰もが使える又使いやすい、橋梁カルテとその電子データ化を望んでいる。(公社 十八公)
 - * H3年度の調査表を電子化するなら研究会は必要ないのではないか。県独自の簡易なマニュアル化を考えるべきではないか。
データベースをいかに活用するかが問題ではないか?それには良いデータベースが必要である(茨城大)
- (4) 今後の研究会の方針について
- * 研究会の提案について
現在手元にある水戸土木事務所及び茨城県道路公社のデータを基本に、各チームが橋梁点検について、使えるものを創ってみることとする。
 - * H3のデータを利用、国土交通省のものと良いところを合体し、茨城県土木部へ提案できるものを目指し、作業を開始しましょう
- (5) 次回の開催について
- * 作業の進捗状況を見ながら、早めにセットする…事務局